

町民みんなの多様な活動をおおらかに受容する 町の誇りとなるシンボルをつくります。

～ 1500年の歴史を想起し、[]の過去・現在・未来を記憶する土の建築～



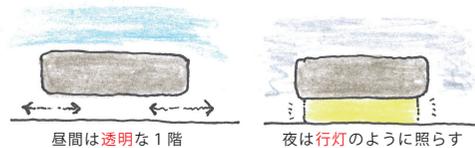
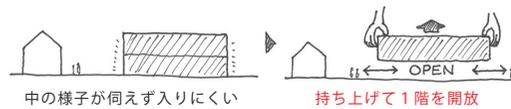
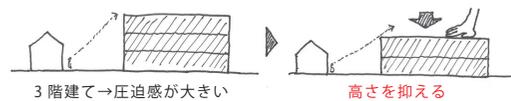
6つのテーマに対する提案

- 1 使い方によって自由に変形できる空間
聖徳太子のもてなしに用いた「屏風」による
フレキシブルな空間を提案します。
- 2 町民が笑顔で交流できるふれあいの場
広場と建物の中心に「万葉テラス」を設けて、
賑わいと交流の拠点をつくります。
- 3 子どもから大人まで共に学べる生涯学習の場
多様な居場所を立体的につなげることで、
多世代が思い思いに学べる場をつくります。
- 4 地域で子どもを育てる子育て支援の場
学童保育の拠点を1階に配置することで、
立ち寄りやすく見守りやすい環境とします。
- 5 地域の魅力を創出するデザイン
1500年前の記憶を想起させる「土」を、
のシンボルとして昇華させます。
- 6 その他独自提案
ブランディングワークショップを通して、
人を育てる建物づくりを提案します。

外観ダイアグラム

建物を持ち上げて1階を開放します。

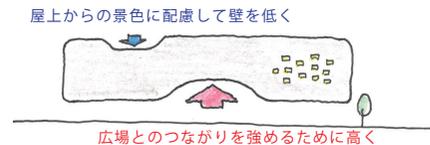
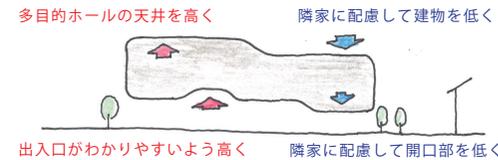
* 建物を持ち上げることで、誰もが立ち寄りたくなる
開放的な空間をつくります。



外皮ダイアグラム

たくさんの優しさ = 配慮から生まれる外皮。

* 建物を訪れる人や使う人、近隣への配慮から建物のボ
リュームを形成し、全てに意味のある形とします。
* 近隣住宅に配慮（建物高さや窓高さ）します。
* 来館者への配慮（出入口）と広場との繋がりを考えます。
* 屋上テラスからの眺めに配慮します。



空間ダイアグラム

広場と屋上を明快かつ楽しくつなぐ大階段。

* 単に屋上を設けても誰にも気づかれず活用されません。
* 誰もが思わず上がりたくなる屋上、広場と屋上をつなげ
る空間を提案します。
* 広場から屋上にむかって大階段と吹き抜けで利用者の視
線の誘導することで、屋上をひと目で認識することがで
き、行動を喚起させる空間とします。

